

看護職員の負担軽減及び処遇の改善に関する取り組み（2026 年度）

当院では、看護職員が安心して働き続けられる職場環境を整えるため、以下のとおり「看護職員の負担軽減および処遇改善」に向けた取り組みを進めています。

項 目	取り組み内容
業務の効率化と負担軽減	・委員会や研修の時間内開催による時間外勤務の縮減 ・多様な勤務形態の採用 ・部署間応援体制の整備
多職種との業務分担	〈薬剤部〉 持参薬確認、配薬準備、服薬指導等の薬剤関連業務の軽減 〈医療技術部〉 検査・医療機器対応負担を軽減 〈作業療法部〉 作業療法、SST 等実施により生活支援・訓練業務を補完 〈地域連携部〉 退院支援、家族対応、社会資源調整を行い、相談業務・連携業務の軽減 〈栄養部〉 栄養指導、食事形態調整、体重管理等の食事関連業務を補完 〈事務部〉 書類説明、伝票処理、事務手続により事務負担の軽減 〈医局〉 診療方針の明確化、指示出しの効率化、精神保健福祉法関連書類の作成を行い、看護師の判断負担・説明負担の軽減
看護補助者の配置強化	・日勤帯の看護補助者配置拡充 ・看護用品や消耗品の整理、書類や伝票整理等
処遇改善と働きやすい勤務制度	・給与体系の見直し（積極的な賃上げ） ・年次有給休暇の取得促進 ・半日および時間有給休暇制度の活用 ・入職時より年次有給休暇の付与
妊娠・育児・介護への配慮	・夜勤免除制度 ・育児・介護短時間勤務制度 ・子の看護休暇・介護休暇の取得支援 ・状況に応じた部署転換の実施（本人の希望により検討）
夜勤負担の軽減	・夜勤専従看護師の配置 ・夜勤後の休養確保（夜勤明けの翌日は原則休み） ・法令人員配置より余剰を持った配置
働き続けられる職場環境づくり	・看護配置基準の維持 ・各種ハラスメント研修の実施（e ラーニング含む） ・所属長面談による勤務状況の確認

看護職員が安心して働き続けられる環境づくりを進めることで、患者さんへより良い医療を提供できるよう努めてまいります。

医療法人全隆会 指宿竹元病院
院長 竹元隆英